

# The Mille Has Times



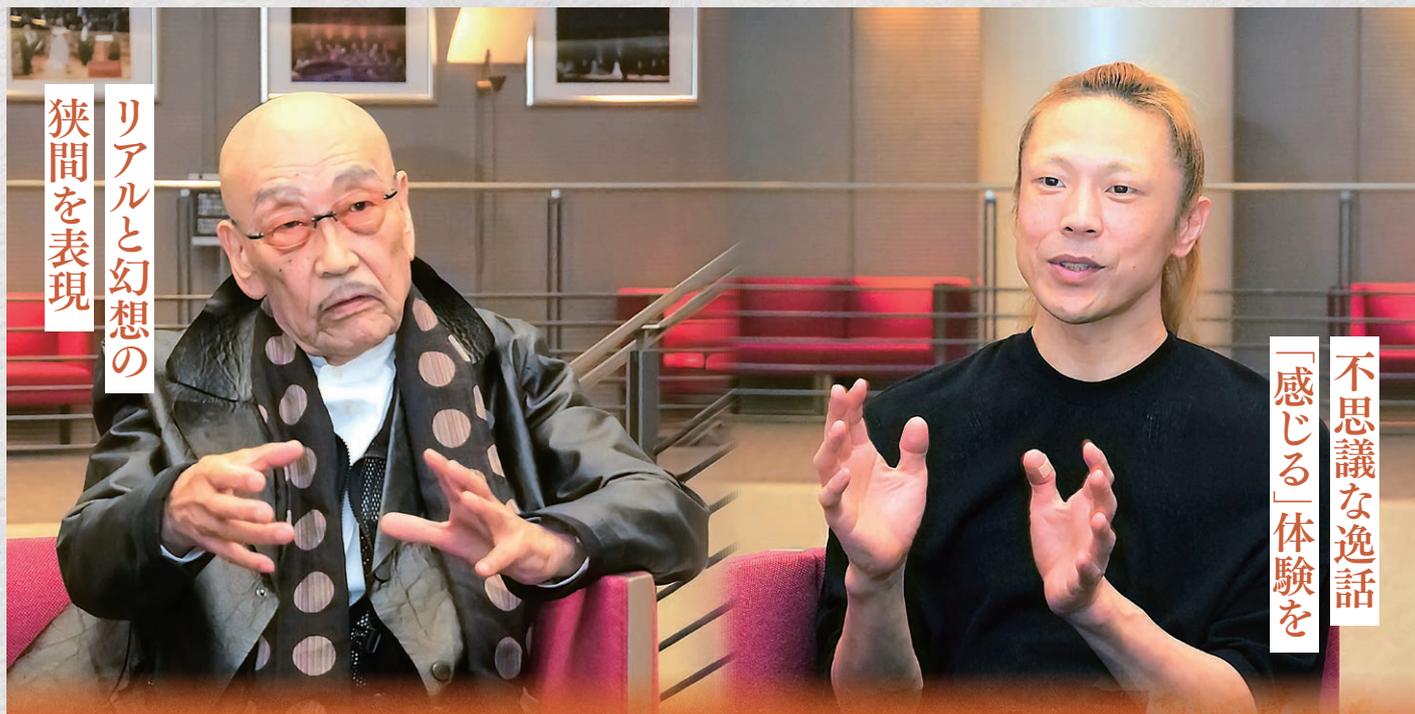
2025  
SUMMER  
VOL.13

小ホールA・Bの利用例を紹介  
固定客席じゃないのが魅力

Interview

Kバレエ・オプト『踊る。遠野物語』特集 磨赤兒さん／森山開次さん

# Kバレエ・オプト『踊る。遠野物語』 来年1月、



リアルと幻想の  
狭間を表現

不思議な逸話を  
「感じる」体験を

◆ 出演

## 磨 赤兒 × 森山 開次

◆ 演出・振付・構成・出演

まる・あかし

1943年奈良県生まれ。舞踏家。舞踏を創始した土方巽に師事し、72年に舞踏カンパニー「大駱駝艦」を創設。「天賦典式」という独自の様式で「BUTOH」を世界にとどろかせた。俳優としては65年に唐十郎の劇団「状況劇場」に参画し、唐の「特権的肉体論」を具現化する役者として演劇界に大きな影響を及ぼす。映画、テレビ、舞台上で幅広く活躍し独特の存在感を放つ。

もりやま・かいじ

1973年神奈川県生まれ。舞踊家。自ら演出・振付・出演するダンス作品を数々発表。2005年にニューヨークで発表したソロダンス「KATANA」がニューヨークタイムズに絶賛された。空海を題材とした「曼荼羅の宇宙」、宮沢賢治の詩を題材とした「雨ニモマケズ」など、日本を独自の美学で表現した作品が人々を魅了する。東京2020パラリンピック開会式演出・チーフ振付。



### Kバレエ・オプトとは

東京・渋谷の複合文化施設Bunkamuraと、バレエダンサー熊川哲也が主宰するKバレエ トウキョウが2022年に立ち上げたダンスプロジェクト。古典バレエとは違った「時代性のある新作」を届けることをコンセプトに、世界の最前線で活躍する振付家の起用や他ジャンルのアーティストとのコラボレーションを意欲的に行っている。



©Hajime Watanabe

### 尾上 真秀 **ダンス公演初出演!**

#### おのえまほろ / 歌舞伎俳優

俳優寺島しのぶとフランス人アートディレクターの父の血を引く12歳。祖父は7代目尾上菊五郎。2023年に初代尾上真秀を名乗り歌舞伎座で初舞台を飾り、19年と24年に国立劇場特別賞を受賞した実力派。11月には初出演映画「港のひかり」が公開予定。

### あらすじ

一通の特攻隊員の遺書との出会いからこの物語は始まった。1945年、出撃の前に青年が許嫁に残した思い。私のことは忘れ、これから新しい人生を幸せに歩いてほしい。けれどその末尾には、こらえきれない本音がこぼれだした。「会いたい、話したい、無性に。」青年の戦闘機が墜ちたのは「遠野」だった。青年は神隠しに遭った少年に導かれながら、この世とあの世が交わる幻影の地「遠野」をさまよう。道中、オシラサマ、雪女、山姥に出会い、その全てに許嫁の面影を映す。たどり着いた三陸の浜で、青年が見たものとは…。

【出演】Kバレエ トウキョウ(石橋奨也、大久保沙耶ほか)、磨赤兒、尾上真秀、田中陸奥子、森山開次、大駱駝艦の踊り手ほか

### 公演概要

- ◆ 日 時：2026年1月12日(月・祝)15:00開演(14:00開場)
- ◆ 会 場：あきた芸術劇場ミルハス 大ホール
- ◆ 料 金：S席8,500円 / A席6,500円 / B席4,000円 / 学生2,000円(25歳以下)
- ◆ チケット：▼ミルハスclub会員先行販売  
7月11日(金)9:00~7月19日(土)17:00  
▼一般販売7月20日(日)10:00~
- 【プレイガイド】ミルハス公式サイト / ミルハス1階管理事務室 / さきがけニュースカフェ(一般販売のみ) / 電話予約(ミルハスTEL:018-838-5822)



▲チケット購入はこちら

# ミルハスで上演

## Interview

インタビュー



### — 遠野物語をどのようにダンス作品に落とし込むのか。

**森山** 遠野物語を構成する119話一つ一つは断片的で何か大きな物語があるわけではありません。一方で、この119話を通じて柳田が伝えようとしたことを浮かび上がらせるために、横軸として主人公の「私」が遠野の幻想世界を巡るというストーリーにしました。「私」は遠野に墜落した戦闘機の特攻隊員。遠野物語が語るこの世とあの世の遭遇にヒントを得て、「私」が死に別れた許嫁の幻影を追い求め、最終的に鎮魂に向かう切ない旅路を描きます。歌舞伎俳優の尾上眞秀さんには「私」をガイドするような存在を担ってほしいと思っています。磨さんの役どころは、この世界をしっかりと見詰める「山の中の翁」のようなイメージです。

**磨** 異界のような近づけないところに、生きている人間がなんとか近づこうとする、そのための折り合いの付け方がさまざまな伝承になって表れるのだと思います。柳田が記した世界観は僕にとってはすごくピタッとくるんです。日本人全員が持っているある種の想念のようなものが根底にあって、僕の創作する舞踏の中にも、どこかにそういうミステリアスな部分があります。だから、僕にとっては今回、「里帰り」のような感覚で踊ることになるのかなと思っています。

### — バレエと舞踏を融合させた新たな芸術表現に挑戦する。

**森山** 一概にバレエはこうだから、舞踏はこうだからと固定化した掛け合わせではない表現を目指したいです。バレエは西洋の芸術として生まれましたが、今や日本人ダンサーも多く活躍しています。日本人ならではの内省的な部分や地面に対する感覚。そうした感性を持ったバレエダンサーが舞踏家の身体と出会うとどうなるのか、楽しみです。僕はどこか、バレエと舞踏の中間にいるかもしれない。一人一人違う身体の感性を持っていると思うので、稽古の中で皆さんと遠野物語を語り合いながらアプローチしていきたいです。僕も「河童」役で踊ります。



森山 開次

石橋 奨也

大久保 沙耶

磨 赤兒

©Hajime Watanabe

Kバレエ・オプトの新作『踊る。遠野物語』が来年1月12日、あきた芸術劇場ミルハス大ホールで上演される。日本民俗学の祖、柳田國男がまとめた岩手県遠野地方の逸話集「遠野物語」が題材。国内屈指のバレエ団「Kバレエ トウキョウ」のトップダンサーと共に、土方巽（秋田市出身）に師事した舞踏家磨赤兒（82）らが踊る。演出と振付を手掛けるのは、国内外で舞踊家・演出家・振付家として活躍する森山開次（51）。8月に本格的な稽古が始まるのを前に、森山と磨の2人に作品の内容や意気込みなどを聞いた。



『踊る。遠野物語』キービジュアル(イラスト:森洋子 写真:渡邊肇)

**磨** 土方は、秋田の農作業や寒さに耐える暮らしの中に着想を得て舞踏を創始しました。舞踏は生活に根付いていて、バレエはイメージに根付いているという感じがします。今回、遠野という広がりのある主題の中で、ある意味何でもできます。飛ぶ人がいれば、這いずり回る人もいるでしょう。飛びたい人を引っ張る何か、という怖さがあってもいいかもしれない。身体というのは不思議なものです。摩訶不思議な舞台になればいいのかなと思いますね。

### — これから稽古を重ねて作品を仕上げていく。意気込みは。

**森山** 遠野物語を読み込みながら、心に感じたものをしっかりと前に押し出していくことを大事にしたいです。遠野物語に記された、言葉では説明できないようなさまざまな体験を実感として観客に届けること。踊りはそれができる力を持っていると思うので、「感じる身体」というのを作品の中で伝えていきたいです。

**磨** 遠野物語を解釈するのではなく、現代人がどう肌身に感じるか。そういう挑戦でもあると思うんです。AI（人工知能）を頼れば、解釈や意味的なものは作るかもしれないけれど、肌の感覚というものは絶対に得られない。何がリアルで、何が幻想なのか、その狭間の不思議な世界をどこまで表現できるか。僕はもう82歳ですから、舞台上で死んじゃうかもしれないというワクワク感もありますよ。遠野物語は「死」も一つのテーマとして内包しています。そういう意味では当たり役になるんじゃないかな。命がけで楽しみたいですね。

公演の詳細はミルハスHPでも紹介しています



# もっと楽しめ!! 変



観客を盛り上げた  
T.O.C.A.のパフォーマンス

あきた芸術劇場ミルハスは、2つの小ホールの利用促進に向けた新たな取り組み「小ホールのいろんな使い方を試してみる企画」をスタートさせた。これまで、地下1階の小ホールBをライブハウスや映画館として使うイベントを開催。今後は4階の小ホールAを使ったイベントの構想も練る。企画を通して小ホールの新しい活用方法を示し、自由な発想で小ホールを楽しむ利用者を増やしていきたい。

## 小ホールの使い方提案企画vol.1ライブハウス

### 臨場感ある演奏に観客熱狂

3月20日に開催した企画第1弾では、小ホールBがライブハウスに様変わり。音楽に乗りやすい立ち見を基本としつつ、会場両脇には椅子席も計20席用意。椅子は仮設壇上に置き、視線が低くならないよう配慮した。秋田を拠点に活動し全国的に人気を集める

3人組ロックバンド「T.O.C.A」と、秋田市内の高校生バンド3組が演奏。曲に合わせて次々に色が変わる照明が雰囲気を盛り上げた。会場は熱気に包まれ、観客は体を揺らしたりこぶしを突き上げたりしながら思い思いに音楽を楽しんだ。



【会場レイアウト】



**出演者コメント** 鈴木翔大さん (T.O.C.Aベース・コーラス)

天井が高いので、ベースを高く持ち上げてもぶつからないのが良かった。ステージも広々と使えるので、人数の多いアーティストにも喜ばれるのではないかな。

**観客コメント** 伊藤知子さん (秋田市、会社員)

会場が広くて、照明や音響が本格的なものでとても楽しめた。ライブハウスに行くのは抵抗がある人でも、このホールなら気軽に来て音楽を楽しめると思う。

#### 1 ピアノとダンスの合同ステージ

##### ひな壇上に客席設営



■ 夕暮れに音楽を / 主催: アートオフィス・サイチ

ホールの扉を入れて右側の床上にピアノを置き、ピアノの前でダンサーが踊った。2段の仮設ひな壇と床に椅子を置いて客席とした。

**ピアニスト / 佐市さん**

ホールを横に使って客席に高さを出したことで、公演が見やすいと好評だった。ピアノと客席の間には、ダンサーの動きを妨げない十分な空間を作ることができた。使い方次第でいろいろな可能性を追求できるホールだと思う。

#### 2 民俗芸能ステージ

##### ランウェイ型の舞台構成



■ あきた無形民俗文化財万博 / 企画・運営: わらび座

県内外の民俗芸能団体が出演し、全長11mほどのランウェイ型のステージでパフォーマンスを披露。ステージの両脇に椅子の客席を約180席用意した。

**劇団わらび座 / 三重野葵さん**

民俗芸能の衣装に着目したステージにしたかったので、ファッションショーのイメージで舞台を構成した。客席とステージの境界をなくし、臨場感のあるパフォーマンスを楽しんでもらえたと思う。

## 小ホールAの事例



# 存在の小ホール

## 小ホールの特徴 多彩な用途に適応

### 小ホールA



面積約250平方メートルで、大ホールの舞台とほぼ同じ広さ。ピアノなどの楽器の発表会やコンサートに使われることが多い。客席数の目安は椅子で200人程度。

### 小ホールB



面積約200平方メートルで、中ホールの舞台とほぼ同じ広さ。ダンスなどに適したリノリウム床で、壁面には大きな鏡を備える。客席数の目安は椅子で160人程度。

※客席数は会場のレイアウトによって変わります。



小ホールBがまるで映画館のような空間に

## 小ホールの使い方提案企画vol.2映画館

### 巨大な白幕に映画投影

「小ホールのいろんな使い方を試してみる企画」第2弾は5月6日に開催し、小ホールBで映画上映を行った。映画館のようなレイアウトにするため、ホール入口側に設営した3段の仮設ひな壇の上に椅子席を約60席用

意。映画は縦約4メートル、横約9メートルの白いホリゾン幕に投影。入退出自由でミニ映画を2本ずつ計4回上映し、満席になる回もあった。小ホールBの壁は黒色で統一しているため、観客が映像に没入できる空間になった。

### 観客コメント 佐藤ちはやさん(秋田市、団体職員)

客席が段になっていたのが映画が見やすかった。映像がとてもクリアで音響も良く、本当に映画館みえた。スクリー

ンが会場の壁一面を占めるくらい大きくて、作品に集中できたのも良かった。

## 3 舞踏(ソロダンス)公演

### 照明を効果的に活用



### 秀島実舞踏公演 / 主催: 秀島実舞踏公演実行会

ホールの前半分を平場の舞台とし、3段の仮設ひな壇に椅子を置いて客席とした。公演中は照明を落とし演者にスポットライトを当てた。

### 主催代表 / 阿部知子さん

演劇にも向いていて使いやすいホールだと思った。スポットライトを活用したことで演者が際立ち、お客さまも作品の世界に没入できたのではないかと。来年も開催してほしいと、うれしい声ももらった。

## 4 エアロビクス教室

### 壁の巨大鏡を活用



### KAKA Circle in Akita-Vol.3 / 主催: 秋田エアロフェスティバル実行委員会

壁の鏡を活用してエアロビクスのレッスンを開催し、27人が参加。スマートフォンと拡声装置をつないで音楽を流した。

### 秋田エアロフェスティバル実行委員会事務局長 / 中村美香さん

東京から講師を招き、楽しく汗を流せた。エアロビクスは自分の姿を確かめながら体を動かすのが重要。秋田市内でこれほど広くて大きな鏡のあるスタジオはないと思う。これからもレッスン会場として使いたい。

# 小ホールBの事例



# 多彩な催しで劇場の魅力発信

## 「ミルハス「フリー・オープン・デー」

あきた芸術劇場ミルハスの施設開放イベント「フリー・オープン・デー」が5月6日、全館を使って開催された。1階エントランスロビーの「ミルミルマルシェ」には昨年を上回る61店舗が出店。大ホールをはじめ全てのホールで趣向を凝らしたイベントが催され、大勢の人でにぎわった。

街のにぎわい創出につなげようと定期的に開催しており今回で3回目。マルシェにはアクセサリーや布雑貨、食品など多彩な商品が並び、訪れた人は品物を手に取ってじっくりと選んでいた。

小ホールAの「ピアノききくらべ」と小ホールBの映画上映会は今回初めて開催した。小ホールAにはミルハスが所有するグランドピアノ4台を設置。秋田市のピアニスト山崎圭子さんがそれぞれのピアノの特徴を解説し、実際に演奏してみせた。参加者は耳を澄ませて音色の違いを確認していた。会場は満席となる盛況ぶりだった。

大ホールでは毎回好評の「舞台機構見学会」を開催。舞台上の音響反射板の有無で音の響きにどんな



大ホールの音響反射板が動く様子などを公開した舞台機構見学会

違いが生まれるかを体感してもらうため、フルートやサクソなど管楽器のアンサンブルがデモ演奏をした。音響反射板を設置した舞台での演奏は、音響反射板がない時に比べ、音の響きが一層豊かになりホール全体に柔らかく広がった。

このほか、中ホールでは一般公募の出演者によるステージ発表イベントを開催。創作室に用意した子ども向けオープンスペース「こどものあそびば」や、1階エントランスロビーで行ったロビーコンサートも訪れた人たちを楽しませた。

「フリー・オープン・デー」の様子はミルハスHPでも詳しく紹介しています



# 人気企画「ピアノマラソン」8月23日開催

あきた芸術劇場ミルハス主催の「第4回ピアノマラソン」が8月23日、大ホールで開催されます。ミルハスのフル・コンサート・グランドピアノ3台を自由に演奏できる毎年恒例の人気企画。7月21日まで参加者を募集しています。参加、鑑賞ともに無料。

出演者たちがマラソンのように代わ

る代わるピアノ演奏をつないでいきます。演奏の制限時間は10分以内で、時間内であれば複数台のピアノを使用したり連弾したりすることも可能。

対象は小学生以上のピアノ愛好家。高い音響性能が自慢のミルハス大ホールで、プロが使う本格的なグランドピアノを弾いてみませんか。

### 公演概要

- ◆日 時：2025年8月23日(土) 13:00~16:00(予定)
  - ◆会 場：あきた芸術劇場ミルハス 大ホール
  - ◆対 象：小学生以上のピアノ愛好家 ◆演奏時間：10分以内
  - ◆参加料：無料 ◆定 員：20組 ※応募多数の場合は抽選
- 【応募方法】①ミルハスホームページの応募フォームから申し込む  
②チラシ裏の申込書をファクス、郵送または持参する



▲参加申込はこちらから

主催/あきた芸術劇場ミルハス

観覧無料
参加無料

あきた芸術劇場ミルハス

## Piano Marathon

### ピアノマラソン vol.4

ミルハスの大ホールでグランドピアノを弾いてみませんか？  
3台のグランドピアノを弾き比べることもできます！





2025. 8.23

13:00 - 16:00

あきた芸術劇場ミルハス 大ホール

- 募集人数 約20名(組)
- 応募資格 小学生以上のピアノ愛好家(ピアノ、指揮棒、リコーダー)
- 申込料金は 無料(鑑賞も無料)
- 応募期間 6月15日(日)~7月21日(月・祝)
- 発表時間 入場後約10分以内
- 申込方法 WEBフォーム、FAX、郵送、窓口へ持参

参加者募集!

当日の観覧は無料! お気軽に聴きに来てください!

ピアノマラソンとは?

ピアノマラソンとは、ピアノ愛好者がマラソンのように交代で順番にピアノ演奏を弾いていきます。

お問い合わせ・お申込み

あきた芸術劇場ミルハス  
TEL 018-838-5822 FAX 018-838-5825

申込専用フォーム

主催 あきた芸術劇場ミルハス

2025年 7月・8月・9月

# 公演・イベント情報

7/9(水)

●大ホール  
天童よしみ  
コンサートツアー 2025



①14:00開演 ②18:00開演

【お問い合わせ】  
世界芸能 TEL:022-222-4997

8/9(土)

●大ホール  
加藤登紀子  
60th Anniversary  
Concert 2025



16:00開演

【お問い合わせ】  
秋田魁新報社企画事業部 TEL:018-888-1857

9/7(日)

●大ホール  
GRe4N BOYZ  
イマージュライブシアター  
2025



17:00開演

【お問い合わせ】  
キョードー東北 TEL:022-217-7788

7/10(木)

●大ホール  
北島兄弟コンサート!



12:00開演

【お問い合わせ】  
オカダプランニング TEL:0225-22-0934

8/9(土)10(日)

●中ホール  
わらび座 イーハトーブ  
シアター「真昼の星めぐり」  
the Musical



①11:00開演 ②15:00開演

【お問い合わせ】  
わらび座公演事業部 TEL:0187-44-3332

9/13(土)

●中ホール  
小痴楽・わん文・吉笑  
競演会



14:00開演

【お問い合わせ】  
ABS秋田放送企画事業部 TEL:018-826-8500

7/11(金)

●大ホール  
MAKI OHGURO  
LIVE TOUR 2025



18:30開演

【お問い合わせ】  
ノースロードミュージック TEL:018-833-7100

※チケット完売

8/11(月・祝)

●中ホール  
稲川淳二の怪談ナイト



13:30開演

【お問い合わせ】  
ノースロードミュージック TEL:018-833-7100

9/13(土)

●大ホール  
結成50周年  
Godiego Live! 2025



15:00開演

【お問い合わせ】  
グッドラック・プロモーション TEL:0570-030-707

7/12(土)

●大ホール  
稲垣潤一・八神純子  
～歌は時を超えて～



16:00開演

【お問い合わせ】  
エフエム秋田 TEL:018-824-1155

8/21(木)

●大ホール  
さだまさし  
コンサートツアー 2025



18:00開演

【お問い合わせ】  
キョードー東北 TEL:022-217-7788

9/14(日)

●大ホール  
川崎鷹也  
Hall Tour 2025



18:00開演

【お問い合わせ】  
キョードー東北 TEL:022-217-7788

7/13(日)

●大ホール  
ゴスペラーズ坂ツアー  
2025 "G30"



17:00開演

【お問い合わせ】  
ジー・アイ・ビー <https://www.gip-web.co.jp/t/info>

※チケット完売

8/22(金)

●大ホール  
JUJU  
HALL TOUR 2025



18:30開演

【お問い合わせ】  
キョードー東北 TEL:022-217-7788

※チケット完売

9/20(土)

●大ホール  
しまじろうのミュージック  
アドベンチャー



①10:30開演 ②13:30開演

【お問い合わせ】  
しまじろうコンサート秋田公演事務局 TEL:0800-800-5122

7/21(月・祝)

●中ホール  
来生たかお  
Stand Alone 2025



16:00開演

【お問い合わせ】  
秋田朝日放送事業部 TEL:018-888-1505

※チケット完売

8/24(日)

●大ホール  
GORO NOGUCHI  
CONCERT TOUR  
2025



15:00開演

【お問い合わせ】  
チケットパートナーズ TEL:022-222-2033

9/21(日)

●大ホール  
Akita Dream Brass  
Concert



15:00開演

【お問い合わせ】ミルハスを核としたにぎわい創出実行委員会  
TEL:018-860-1529

8/3(日)

●中ホール  
サンボマスター  
全員優勝パレードツアー  
～ウイニングロード～



18:00開演

【お問い合わせ】  
ジー・アイ・ビー <https://www.gip-web.co.jp/t/info>

9/3(水)

●中ホール  
春風亭一之輔の  
ドッサリまわるぜ 2025



18:30開演

【お問い合わせ】  
ノースロードミュージック TEL:018-833-7100

※チケット完売

※掲載しているのは公演・イベントの一部です。情報は6月中旬時点のもので、「チケット完売」の記載がない公演でもお読みになった時点では完売している場合があります。ご了解ください。



▲詳細はこちら

# Mille Has information

—— わらび座ミュージカル「秋田は何もない」 ——

## ミルハス特別企画が開催決定!!

わらび座ミュージカル「秋田は何もない」とあきた芸術劇場ミルハスがコラボレーションした特別企画が9月15日、ミルハス中ホールで開催されます。子どもから大人まで、楽しみながら秋田の良さを見詰め直せる県民必見の公演です。わらび座とミルハスの主催。

第1部は、「秋田は何もない」の魅力を60分に凝縮したミュージカルコンサートを行います。第2部は「県民肯定感向上委員会」と銘打ち、秋田ゆかりのゲストと他県出身ゲストがトークやゲームを繰



り広げます。

8月2日は、小学生を対象とした関連企画「見つける伝えるワークショップ バック」を開催。「秋田にはこれがある！」をテーマに、生成AIを使ってオリジナルCM作りに挑戦します。会場は秋田市の秋田拠点センター・アルヴェ。参加無料。

### 概要

わらび座ミュージカル「秋田は何もない」ミルハス特別企画

〈第1部〉「秋田は何もない」ミュージカルコンサート

〈第2部〉県民肯定感向上委員会(ゲストのトークとゲーム)

◆日時:2025年9月15日(月・祝) 14:00開演

◆会場:あきた芸術劇場ミルハス 中ホール

◆料金:3,800円 ※18歳以下子ども無料招待(同伴保護者半額)枠あり

### 関連企画

見つける伝えるワークショップ バック

◆日時:2025年8月2日(土) 10:00

◆会場:秋田拠点センター・アルヴェ

◆料金:無料 ◆定員:15名程度



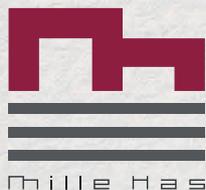
▲企画の詳細はこちら



秋田県出身のプロ演奏家ら15人と一日限りの楽団を組み、あきた芸術劇場ミルハス大ホールのステージに立つ。楽器演奏に取り組む生徒・学生にとって夢のような企画が動いている▼その名も「あきたドリームプラス」。主催は秋田県や秋田市、

秋田県芸術文化協会などで構成する「ミルハスを核としたにぎわい創出実行委員会」。「ミルハス開館3周年記念」を冠した事業に心から感謝したい。参加募集に応じたのは関係者の予想を大きく上回る97人。プロたちの指導を受け本番に臨む▼企画を担ってくれたのはアトリオン(秋田県総合生活文化会館)で2007年から音楽プロデューサーを務める藤原崇世さん(45)だ。「この公演が参加者たちの記憶に残り、楽器演奏を長く続ける励みになってほしい」と話す▼地元若手の成長と県出身音楽家の活躍を願う気持ちが言葉にあふれる。地域に深く根差す思いは豊かな経験に裏打ちされ企画の数々に生かされる。それは地域の

財産と言える▼あきたドリームプラスの企画は、ミルハスへの激励でもあるはず。経験値でアトリオンに及ばなくとも、秋田の舞台芸術を思うスタッフの熱量でカバーし、秋田に文化の花を咲かせていかなければならない。ミルハスの若い企画担当者たちも日々経験を重ね成長を遂げている▼ハスのお堀を挟んでミルハスとアトリオンが刺激し合い、ときに協力し合う。そんな関係ができたら文化の花はなお華やかに咲くのではないかな。その一歩がアトリオンから踏み出されたい。あきたドリームプラス公演は9月21日(観覧料一般1,500円、学生1,000円)。地域の力と可能性、地域への思いが響き合うステージになる。



あきた芸術劇場  
Akita Arts theatre  
ミルハス

<発行>あきた芸術劇場ミルハス  
〒010-0875 秋田市千秋明徳町2番52号  
TEL.018-838-5822 FAX.018-838-5825  
E-mail/info@akiat.jp https://akiat.jp

